



令和元年度第二回鉱業博物館特別展

共催：国立研究開発法人  
海洋研究開発機構（JAMSTEC）

## 秋田と深海と黒鉱

開催期間 令和元年10月23日(水) ▶ 12月21日(土)

開催場所 鉱業博物館 2階 特別展示室

10月23日(水)から、第二回鉱業博物館特別展「秋田と深海と黒鉱」を海洋研究開発機構（JAMSTEC）との共催により開催しております。現在の深海底で見られる熱水活動を紹介するとともに、秋田県の主要な鉱物資源であり日本の近代化・高度経済成長を支えた「黒鉱」がどのような場所できかにして形成されたのかを解説します。この展示から、地球の営みと資源の形成との関係や、資源が人類にもたらす恵みについて感じ取っていただければ幸いです。

### 特別講演とギャラリートークの開催

特別展初日の10月23日(水)には、「秋田県鉱山サミット2019」の開催に合わせ、今井 忠男 鉱業博物館長、西川 治 鉱業博物館副館長、国際資源学研究所博士課程 鈴木 照洋氏による特別講演が当館講堂で行われました。その後、特別展会場でギャラリートークが行われました。



特別展ポスター

#### 特別講演の演題

- |                                    |       |
|------------------------------------|-------|
| 「黒鉱開発の始まりー小坂鉱山と藤田組ー」<br>講師：鉱業博物館館長 | 今井 忠男 |
| 「秋田県北の海底火山活動と黒鉱」<br>講師：鉱業博物館副館長    | 西川 治  |
| 「黒鉱の鉱物学的特徴」<br>講師：国際資源学研究所博士課程     | 鈴木 照洋 |



挨拶をする  
今井 忠男 館長



講演を聴講する皆さん



ギャラリートークの様子

#### 特別講演

今井館長による講演「黒鉱開発の始まりー小坂鉱山と藤田組ー」では、小坂鉱山での鉱山開発についての説明がありました。小坂鉱山は江戸時代、銀鉱山として発展しました。1887年(明治20年)には黒鉱鉱床が発見され、成分分析の結果、金、銀、銅、鉛、亜鉛が含まれていることが分かりましたが、黒鉱から鉱物を取り出す技術がなかったため、製錬法の研究開発を開始したそうです。10年以上の年月をかけた研究で製錬に成功し、明治後期には銅鉱山としての最盛期を迎えた、と説明がありました。現在では電子部品の廃棄物から希少金属を取り出すリサイクル製錬を行っており、黒鉱の製錬技術が継承され、生かされている、と話しました。

#### ギャラリートーク

西川副館長の案内で行われたギャラリートークでは、現在行われている深海調査について、有人潜水調査船や探査船を使って、海洋の環境、断層やプレート境界、生物や資源についての調査が行われている、と説明がありました。また、黒鉱鉱床がいつ頃どのようにしてできたかについて、昔の酸性火山活動で熱水が噴出した際、その中に含まれる金属が硫化物として堆積して形成されたと考えられており、約1300万年前の地層中に分布している、と説明しました。

講演会とギャラリートークには、50名近くの方が参加し、熱心に聴講していました。

特別展では、解説パネル、黒鉱や土鉱などの標本のほか、熱水噴出孔とまわりの生態系を表した模型や、海底熱水噴出域に生息する生物の標本、日本海周辺の海底地図などの展示もしております。ぜひ、会場に足をお運びください。

## 令和元年度第1回鉱業博物館開放講座

# 明治維新における東北・北海道の開拓事業

が開催されました

9月24日(火) 当館講堂で、秋田大学名誉教授 川上 洵氏による鉱業博物館開放講座「明治維新における東北・北海道の開拓事業」が開催されました。

講演では、明治15年(1882年)に郡山盆地を灌漑するために整備された用水路、安積疏水や、明治43年(1910年)から、氾濫を繰り返していた石狩川に捷水路(しょうすいろう)を通ず治水工事など、いくつかの明治以降の開拓事業が紹介されました。また、「北海道開拓の父」と呼ばれ札幌の都市計画をし、明治5年(1892年)には秋田県初代権令となった島 義勇(1822-1874)の業績についても触れました。島 義勇は、秋田県権令に赴任した数ヶ月後には、「八郎潟の大築港と沿岸の埋立開拓の計画」を発表して政府と直接交渉したそうです。そのとき計画は実現しませんでした。昭和32年には八郎潟干拓事業が開始されました。最後に川上氏は、現在の河川法は「治水」「利水」「環境」「維持管理」を考慮した総合的な制度であるが、最近は水害が多くなっており「治水」にウェイトを置いていかなければならないのではないか、と自論を述べられました。

講演には約30名の方が参加し、関心を持って聴講していました。



川上 洵先生



講演の様子

### 疏水(そすい)

湖沼や河川を水源として灌漑、給水、舟運、発電などのため、あるいは排水のために、新たに土地を切り開いて通水させること、及び人工水路のこと



北海道神宮にある島 義勇像

## にぎわい交流館AU 出張展示

リニューアルしました!



入れ替え作業

鉱業博物館では、当館所蔵の標本を多くの方に見ていただくため、秋田市中通のエリアなかいち内「にぎわい交流館AU」で、標本の一部を出張展示しています。

展示標本は一年に一回入れ替えており、今年は10月24日(木)、「方解石(ほうかいせき)と霏石(あられいし)」をテーマとしたものにリニューアルしました。これまで鉱業博物館実習生が主体となり、展示内容の企画、展示する標本の選定、説明パネルの作成などの準備を進めてきました。当日は、標本やパネルの運び出しから入れ替えまでの作業を行い、新しく展示が生まれ変わりました。

展示場所は、エリアなかいち「にぎわい交流館AU」1階、カフェラウンジの前です。近くにお越しの際は、ぜひご覧ください。



完成した展示

## 明桜高等学校放送部員が映像制作のため来館しました

10月16日(水) 明桜高等学校放送部員2名が、当館を紹介する映像作品を制作するため来館しました。放送部員は、西川副館長から当館の概要についての説明を聞き、展示室や標本の撮影を行いました。また、鉱業博物館実習生4名に鉱物の魅力についてのインタビューをしました。取材した素材を5分間にまとめ、放送局主催のコンクールに応募するそうです。



## 冬季及び年末年始の休館日について

令和元年12月から令和2年2月までの期間、**日曜日・祝日は休館**いたします。

また、**12月26日(木)から翌年1月5日(日)までの期間は休館**いたします。

